

14 (月) レムナントの3 セッティング

使1章8節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。

Remnant が必ず覚えておくことがあります。それは、レムナントが毎日持つ三つのセッティングです。

1つ目、サミットタイムです。Remnant は、毎日、今日のことをチェックするサミットタイムを持ちましょう。そのとき、祈りで霊的サミットを味わいます。そこから出て来る学業が技能サミットです。霊的サミットと技能サミットの中から出て来る答えが文化サミットです。レムナントは今日のことだけチェックして実践すれば良いのです。2つ目、サミットの答えです。Remnant が味わうサミットの答えがあります。それは、学業と、毎日することを通して、ただ、唯一性、再創造を毎日見つけることです。すると、後に大きな答えとして現れます。3つ目、サミットの器を準備しましょう。サミットの器は、ただ、唯一性、再創造を実際に見つけ出す時間です。Remnant が必ずすることが何かを悟れば、それによってプラットフォームができます。ほかの人を生かす見張り台ができます。そして、世界化になるアンテナができます。

第4次産業革命時代には、もっとたくさん問題が生じるでしょう。Remnant にはそれが機会です。Remnant がサミットタイムで作る作品が時代を癒やすでしょう。



書いてある順番どおりに実践してみよう

1. 今日の聖書箇所全体を読んで黙想しよう

2. そして、タイトルを読んでみよう。神様は今日なぜこのタイトルをくださったのかな。考えて書いてみよう



今日、握った「今日のみことば」は何か。「今日のみことば」で、サミットタイムを持つ、自分だけの祈りの課題を整理してみよう。



今日、私の現場での伝道について何か考えてみよう

現場に対する小さな伝道の実践に挑戦しよう

* 私の現場

* 現場に対する小さな伝道の実践

神様、サミットタイムの中でサミットの答えを受けて、サミットの器を準備しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

でんどうしゃ
伝道者の3セッティング

使1章1~8節 しかし、聖霊があなたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。(8)

これからは、医者が治すことができない病気がたくさん生じます。これを正しい福音で癒やす時代が来ます。そして、多民族時代と Remnant 時代が来ます。今、Remnant が準備することがあります。祈りによって、神様の絶対やぐらを建てることです。

1つ目、祈りは霊的な呼吸です。祈るときに、いのちが活かされるようになります。2つ目、三位一体の神様が Remnant のやぐら、旅程、道しるべになっておられることを祈りましょう。3つ目、祈りで私と家庭、家系に、長い間続いているサタンのやぐらを崩して、神様のやぐらを建てましょう。4つ目、祈りで契約を味わって、神の国が臨む時まで待って、現場に向かって挑戦しましょう。5つ目、神様の絶対やぐらを作るのが祈りの答えの基準です。6つ目、祈りの方法は3集中、3答え、3セッティングです。朝、夜、昼に祈りの奥義を味わいましょう。問題は答えて、苦しいことは更新で、危機は機会になります。そのとき、プラットフォーム、見張り台、アンテナが建てられます。7つ目、三つの庭を残して、伝えましょう。多民族、癒やされる人、次世代が来るしかない庭を準備しましょう。

Remnant は祈りで、これから来る時代を準備しましょう。



書いてある順番どおりに実践してみよう

1. 今日の私のスケジュールを書いてみよう
2. スケジュールを見て、神様に聞いてみたいことはあるかな。書いてみよう
3. 今日の聖書箇所をよく読もう
4. 神様は今日、私になにを語ろうとしておられるのかな。書いてみよう



「黙想の文章を通して握った「今日のみことば」をもって24できる祈りの課題を整理しよう

* 今日のみことば :

* 今日24する祈りの課題



私の現場でどんなプラットフォームが必要かな
今日の現場伝道のプラットフォームについて考えてみよう

- * 私の現場
- * その現場伝道のために必要なプラットフォームは何かな

神様、祈りで神様の絶対やぐらを建てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

使 17 章 1~9 節 パウロは、いつものように人々のところに入って行き、三回の安息日にわたって、聖書に基づいて彼らと論じ合った。(2)

Remnant は、どのようなすれば祈りの答えを受けるのでしょうか。運命を変える再創造に挑戦しましょう。どのように挑戦すれば良いのでしょうか。

1 つ目、まず Remnant の心の中にやぐらを建てましょう。私たちの中に世界福音化の絵を持ちましょう。そのために、福音によって、私たちの霊と根源、環境の中にある暗闇が癒やされるように祈りましょう。そして、確実なやぐらを建てて家系と私たちの過去、運命を変えましょう。そのときからプラットフォームと見張り台、アンテナが建てられます。2 つ目、やぐらが建てられれば、Remnant を通して現場に変化が起こり始めます。Remnant が住んでいる地域に福音が証しされます。ほかの地域と 237 か国にも福音が宣べ伝えられるようになります。3 つ目、やぐらが変われば、必ずたましいとからだに癒やしが起こります。祈りは、大変なことではありません。まことの祈りをすれば、力と能力が生まれて幸せになります。そのとき、神の国が臨む 25 の答えが与えられます。すると、永遠に残る作品を作るようになるでしょう。

Remnant は三位一体の神様が私のやぐら、旅程、道しるべになることを祈りましょう。三つの庭と金土日時代を通して次世代を生かして、全世界の霊的わざを止めるように祈りましょう。



書いてある順番どおりに実践してみよう

- 今日の聖書箇所全体を読んで黙想しよう
- 神様は今日、なぜこのタイトルをくださったのかな。書いてみよう
- 黙想した文章を読んで、今日私に与えられた「ひとつの単語」と「一つの文章」を整理しよう



「黙想の文章を通して握った「今日のみことば」を「25」の答えとして受ける私だけの祈りの課題として整理しよう。



私の現場でどんな見張り台が必要かな
今日の現場伝道の見張り台について考えてみよう

- * 私の現場
- * この現場伝道のために必要な見張り台は何か

神様、未来に向けた挑戦が始まりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

じゅうしょくしゃ みち
重職者の道

使17章6節 しかし、二人が見つからないので、ヤソンと兄弟たち何人かを町の役人たちのところに引いて行き、大声で言った。「世界中を騒がせてきた者たちが、ここにも来ています。」

初代教会の重職者ヤソンとプリスカ夫婦、ガイオは地域を生かして伝道者を助けました。彼らは、福音と祈りが何か知っていました。Remnantは、どうすれば、この人々と同じ答えを受けることができるのでしょうか。不信仰になる間違った*やぐらを崩して、祈りのやぐらを建てれば良いのです。Remnantが祈りの答えを味わうなら、どんな答えを受けるようになるのでしょうか。

一つ目、Remnantの家が人を生かす*ミッションホームになります。そして、次世代が生かされる*RUTCになります。そして、地域を生かす地教会になります。二つ目、Remnantの教会に三つの*庭ができます。多民族が訪ねてくる異邦人の庭ができます。そして、病気になった人々が、祈って癒やされる祈りの庭ができます。また、子どもたちが遊んで、休んで、学ぶことができる子どもたちの庭ができます。三つ目、Remnantの学業は世界福音化をする秘密決死隊の職業になります。また、ほかのRemnantを育てるようになります。このようなRemnantは、神殿を建てることのできる神殿運動の主役になります。

Remnantは福音を受けたので、祈りが何か分かれば答えを受ける重職者になります。一日に一度でも祈る時間を持ちましょう！

*ミッションホーム：神様の特別な任務を悟った家のことです。

*RUTC：Remnant Unity Training Centerの略字です。レムナントを集めて訓練させる場所のことです。

*やぐら：見張りをするために建てた高い塔を意味します。

*庭：広場または、庭園という意味を持っているこの単語は、神殿や宮殿などといっしょに使われました。

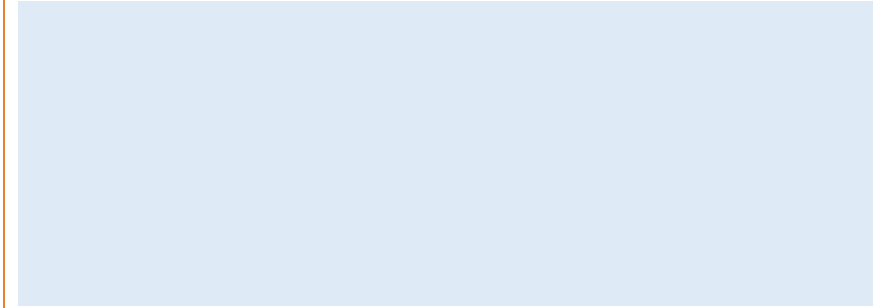


書いてある順番どおりに実践してみよう

- 今日の聖句全体を読もう
- 神様が今日なぜこのタイトルを与えられたのかな。書いてみよう
- 黙想の文章を読んで、今日、なぜ私にこのみことばを与えられたのかな。考えてみよう
- 神様が私に与えられた今日のみことばを心にとどめよう



黙想の文章を読んで心にとどめた「今日のみことば」を「永遠」の答えを受ける私だけの祈りの課題に整理しよう。



今日、私の現場にはどんなアンテナが必要かな。今日の現場伝道のアンテナについて考えてみよう。

*私の現場：

*そこでの現場伝道に必要なアンテナは何か

神様、神様が願われる、その働きに用いられるように、祈りを味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ヨセフの夢

創 37 章 1~11 節 さて、ヨセフは夢を見て、それを兄たちに告げた。すると彼らは、ますます彼を憎むようになった。(5)

見張り人はやぐらがなければ、見張り人の仕事をする事ができません。Remnant は見張り人なので、霊的世界を味わう祈りのやぐらを持ちましょう。やぐらを持っている見張り人は、世界福音化に向かった旅程と道しるべを見ることが出来ます。すると、神様がくださったことを味わいながら、待って、正しいことに挑戦することが出来ます。祈りのやぐらがあれば、三つの答えが与えられます。

一つ目、神様が与えてくださる CVDIP の答えがあらかじめ見えます。神様がくださった契約をあらかじめ見るようになって、時代を生かすビジョンを持つようになります。これが、信仰の中で味わう CVDIP の答えです。二つ目、日常生活の中で味わうようになる答えがあります。神様がくださった夢と力、そして、永遠の作品を残します。三つ目、毎日味わう答えがあります。祈りで霊的やぐらを作れば、夢に出てくるほどビジョンが確実になります。すると、生活に契約が現れるようになります。未来を考えると、神様が与えてくださった契約とつながります。

Remnant は受ける答えを知って祈るサミットタイムを持ちましょう。サミットになることが確実なので、サミットの器と姿勢を準備しましょう。一日に一度でも神様がくださった契約を握って祈りに挑戦しましょう！



書いてある順番どおりに実践してみよう

1. 一日をはじめのまえに、神様に質問したいことはありますか。書いてみよう
2. 今日の聖句全体とタイトルを読んで黙想しよう
3. 黙想の文章を読んで、今日、私の質問に神様がくださった答えを書こう



今日、心にとどめた「今日のみことば」は何かな。
「今日のみことば」から私だけの祈りの課題を整理してみよう



私の現場での伝道について考えてみよう。
現場に向けた小さな伝道実践に挑戦しよう

* 私の現場 :

* 現場に向けた小さな伝道実践

神様、一日に5分でも祈れるように祝福してください。サミットタイムと器、姿勢を備えますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ぜったい
ヨセフの絶対やぐら

創37章1~11節 再びヨセフは別の夢を見て、それを兄たちに話した。彼は、「また夢を見ました。見ると、太陽と月と十一の星が私を伏し拝んでいました」と言った。(9)

多くの人が「私は答えがなくて、私だけうまくできない」と考えます。もしかして、Remnant もそのような悩みがありますか。もう落ち込むことなく、神様に質問してみましょう。キリストがだれなのか、なぜキリストが必要なのかを質問すれば正確な福音を悟るようになります。そのとき、私に絶対やぐらが作られて、私を呼ばれた神様の理由を見つめるようになります。Remnant ヨセフもこの答えを受けました。

一つ目、ヨセフは最も苦しかったとき、神様がくださった契約を握りました。契約の中でビジョンと夢を発見して、実践することと、世界福音化の作品を見つけました。二つ目、奴隷になったとき、落ち込みませんでした。目に見えないように朝、昼、夜に祈りました。三つ目、監獄に行ったときは、この事件と世界福音化の契約がどのようにつながっているのかを質問して祈りました。四つ目、ファラオに会ったとき、あわてたり、高慢になったりしませんでした。神様が私たちとともにおられるという事実と契約だけを伝えました。五つ目、総理になったときは、ほかの人を敬い仕える姿勢で人を生かす働きをしました。

Remnant は暗闇がいっぱいになっている世の中に光を放つ人です。Remnant の中に神様のやぐらが建てられ、現場が生かされるように祈りで挑戦してみましょう。



書いてある順番どおりに実践してみよう

- 今日、私に向けた神様の計画は何かを質問してみましょう
- 今日の聖句全体を読んで、神様が今日、なぜこのタイトルを与えてくださったかを考えて書いてみましょう
- 黙想の文章を読んで、今日、私に向けた神様の計画を書いてみましょう



今日のみことばをもって、一日を整理してみましょう。
今日一日の中で、問題、危機、葛藤はありましたか。それを通して神様がなされることを見つけましょう。

今日の問題、危機、葛藤	今日のみことばをもって そのことを通して神様がなされること



私の現場が生かされるように、私の中に神様のやぐらが建つ挑戦をしよう
* 私の現場

* 現場が生かされるように私の中に神様のやぐらが建つための今日の挑戦

神様、霊的世界を正しく知り、神様のやぐらが建てられますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン